

かがやき 新聞 八月号

京都市役所 文化市民局 地域自治推進
室

京都市北部山間かがやき隊 京北担当
菅本 千尋

お問い合わせ(右京区役所 京北出張所)

電話(075)852-1811

E-mail suqdc132@city.kyoto.lg.jp



黒田の松上げ



お祭り会場の様

京北の伝統行事へ参加

こちらに来てから積極的に参加させていただいている事と言えば、京北及び山間地域で行われる行事です。印象的なのは、どの地域も火を使った行事が多いこと。話を聞いてみると、この地域は古くから愛宕山信仰の地域であり、そのために火を崇めるのだと地域の方から伺いました。一般的には地域の伝統行事といった側面がある為、地域外の者は参加出来ないのですが、今回呼んでいただいた黒田地域の祭りでは、松上げで使用する松明の作成から、当日の松明投げ入れまで参加させていただきました。黒田地域では面白いことに、神事としてではなくエンターテイメントとして取り組んでいるとの事。なので、松明作成から取り組んでくれた者は特別に参加させて下さるとの事でした。火のついた松明をぶんぶん回しながら、高さ10mの大松明に投げ入れるのは普段では経験できない高揚感があります。この行事に参加して一番心に響いた事は地域の方から「やっぱり若者が参加してくれるのは嬉しいな」と言っていた事です。来年度は松明作成に取り組んだ人は行事に参加できる、というのをきっかけにして若い方達が参加し投げ手が増え、にぎやかな夜になる取組を地域の方々と相談しながら検討したいと思っています。

自己紹介と着任理由

こんにちは、このたび京都市初の地域おこし協力隊として7月1日に採用され、「京都市北部山間かがやき隊」として京北地域を担当、活動している菅本 千尋です。

かがやき隊は行事のお手伝い、地域課題の解決をサポート(移住促進や空き家活用など)、イベントで京北地域のPR・特産品販売など様々な活動を通して魅力発信するのが主な役割です。

今回の活動の為に三重から引越して活動しています。趣味は旅行、呑む、食べ歩きです。旅行歴はタイ、ミャンマー、台湾そして香港のアジア地域のみです。職歴は、鈴鹿サーキットでカートインストラクター、製造業、保険会社外交員など様々な仕事をしてきましたが、27歳になり、以前から興味があった仕事をしたいと思いこの京北へ赴いて参りました。この制度に応募した理由は、以前から地方創生などの公共政策に興味があり、特に地域社会の再生などに興味があった為です。日本の何気ない田園風景は大切な食料資源の生産の場であり、また、日本人の心の故郷としての観光資源でもあります。飾らないそのままの風景が、これからは外国人観光客の方々に対して、都市部とはまた違った魅力で勝負できるのではないかと、と海外旅行などを通して経験、体験してきた事が影響しています。



片山所長と山田知事に記念写真を撮っていただきました

福知山市でPR活動

着任してからは様々な活動をさせていただいています。先日参加した福知山市で開催された全国キッズダンスコンテストでは京北コーナーを設け、来場された皆様へPRを行いました。京都府下の方が多かったですが、お話しを聞いていると「知ってるよ」とか「毎年子供とキャンプに行きます」「綺麗な自然が残っていい所だよ」といった声が聞けました。また、まだ京北をご存じない方から「お渡しした桜マップを見て「行ってみたい」という声も多く聞くことが出来ました。小さい子供達や小・中学生の子供達からは京北のマスコットキャラクターのハナえもんがかわいいととても評判が良く(京北のみなさんは知らない方が多いかもしれません)印刷されたクリアファイルを受け取った子供達はとても喜んでくれて、学校でも使うと言ってくれました。こんな形で、徐々にキャラクターも京北の事も浸透してくれるといいですね。これからも興味を持っていただける、喜んでもらえる京北の魅力をたくさん知ってもらえるように努力したいと思います。



京北ブースでクイズコーナー。問題は昔の杉の輸送方法。少し難しかったかな